

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年7月18日 (2013.7.18)

【公表番号】特表2012-532007(P2012-532007A)

【公表日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2012-516869(P2012-516869)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/02 (2006.01)

B 0 1 J 20/18 (2006.01)

B 0 1 J 20/34 (2006.01)

B 0 1 D 53/04 (2006.01)

A 2 3 L 1/015 (2006.01)

A 0 1 F 25/00 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 53/02 Z

B 0 1 J 20/18 D

B 0 1 J 20/34 H

B 0 1 D 53/04 A

B 0 1 D 53/04 F

A 2 3 L 1/015

A 0 1 F 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

好適なインジケータは、特許出願 J P 6 0 - 2 0 1 2 5 2 に開示されたパラジウム系のエチレンインジケータを含む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 の使用であって、
有機物質由来の揮発性有機化合物 (V O C) を吸着するものであり、
前記水素 Z S M - 5 の S i : A l の比が、1 0 0 : 1 以下であり、
前記パラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 が、1 0 v o l % 未満の酸素を含む環境で使用される、パラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 2】

前記水素 Z S M - 5 の S i : A l の比は、2 2 : 1 ~ 2 8 : 1 である、請求項 1 に記載のパラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 3】

前記有機物質が腐敗しやすい有機物品である、請求項 1 または 2 に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 4】

前記腐敗しやすい有機物品が(a)食品又は(b)園芸作物である、請求項 3 に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 5】

前記食品が果物および / または野菜である、請求項 4 に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 6】

前記園芸作物が、植物および / または切り花である、請求項 4 に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 7】

前記有機物質が、ゴミを含んでなるものである、請求項 1 または 2 に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 8】

前記有機物質が、貯蔵容器または包装に貯蔵されてなるものである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 9】

前記揮発性有機化合物が、 - 1 0 ~ 5 0 の温度で吸着される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 10】

前記揮発性有機化合物が、(a)エチレン、或いは(b)ホルムアルデヒドおよび / または酢酸を含んでなるものである、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 11】

前記パラジウムが、前記ドープされた水素 Z S M - 5 の総重量を基準として 0 . 1 w t % ~ 1 0 . 0 w t % で含まれてなる、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 12】

前記環境が、調整された大気的环境または変更された大気的环境である、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 13】

前記酸素が、 0 . 5 v o l % 以上 1 0 v o l % 未満で存在する、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 14】

前記揮発性有機化合物が、 0 . 1 0 p p m 以下の水準で吸着される、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 15】

前記パラジウムドープされた水素 Z S M - 5 を、空気中において、 3 0 分間、 2 5 0 で加熱し、

前記パラジウムドープされた水素 Z S M - 5 に吸着された揮発性有機化合物および存在する第 2 化合物を放出し、

それにより、更なる使用のためにパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 を再生するのである、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 16】

前記パラジウムドープされた水素 Z S M - 5 が、V O C インジケータと共に使用される、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか一項に記載のパラジウムドープされた水素 Z S M - 5 の使用。

【請求項 17】

前記パラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 が、
ラベルの形態、小袋の形態またはインクの形態であり、
触媒担体上またはその内部にコーティングされた形態であり、或いは
押出成形物、ペレット、錠剤、グレインまたはグラニユールの形態であり、或いは、
前記パラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 が、包装物質内に挿入されてなるものである、請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載のパラジウムドーブされた水素 Z S M - 5 の使用。